









harman / kardon[®]
by HARMAN

ONYX STUDIO 6












取扱説明書

安全上のご注意






- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。
■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。	
 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。	 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 分解してはいけないことを示す記号です。	 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 触れてはいけないことを示す記号です。	 AC電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。



警告

-  **分解や改造をしない。** 火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。
-  **煙が出る場合、異常なおいや音がする場合は、すぐにAC電源アダプタを電源から抜く。** 煙が出なくなるを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。
-  **本機の内部に水などが入った場合は、AC電源アダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。** そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
-  **直射日光が当たる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機そばなど）に設置しない。** 本体の外装や内部回路に影響が生じ、火災の原因になることがあります。
-  **音が歪んだ状態で長時間使用しない。** スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。
-  **飛行機の中で使わない。** 飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中では本機の電源を切ってください。
-  **AC電源アダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。** 万一の場合、AC電源アダプタを容易に引き抜くためです。
-  **付属品以外の電源コードは使用しない。** 火災の原因になることがあります。
-  **付属品のAC電源アダプタを他の機器に転用しない。** 火災の原因になることがあります。
-  **船舶などの直流（DC）電源には接続しない。** 火災の原因になります。
-  **電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。** 火災・感電の原因になります。

注意

-  **濡れた手でコンセントを抜き差ししない。** 感電の原因になります。
-  **長期間本機を使用しないときは、AC電源アダプタをコンセントから抜く。** 火災・感電の原因になります。
-  **AC電源アダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。** 電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。
-  **AC電源アダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。** AC電源アダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。
-  **ほこりや湿気の多い場所に設置しない。** ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。


内蔵電池についてのご注意

-  **内蔵電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。** 漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因になります。また内蔵電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
 - 液が漏れたとき
 - 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。
 - 乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
 - 液が目に入ったとき
 - 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
 - 液が体や衣服についたとき
 - すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。
-  **内蔵電池について以下のことに注意する。** 本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
 - 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
 - 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
 - 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
 - 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
 - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
 - 所定の時間を超えても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
 - 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

Bluetooth[®] に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなることがあります。

- 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

-  **注意**
 - 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
 - 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
 - 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。
ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること。
- 本機に掲示している証明表示を消したりはがすこと。

周波数について

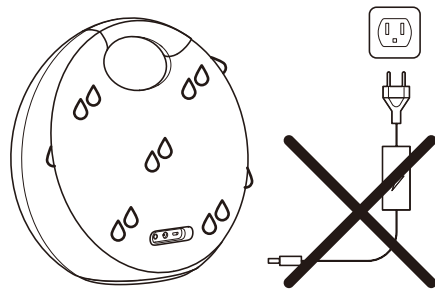
この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される与干渉距離は約10mです。



この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

本機の防水性能について



本製品は、防水規格IPX7相当の仕様となっています。一時的（30分）に一定水深（1m）の条件に水没しても内部に浸水しない「防浸形」です。

- ※ 完全防水ではありませんので水中では使用しないでください。
- ※ 本機に付属の電源ケーブルは防水仕様ではありません。水がかかる恐れのある場所で、付属の電源ケーブルやAC電源アダプタを接続して使用しないでください。
- ※ シリコンのカバーをしっかりと閉めてご使用ください。また、破損したり分解しようとするとう防水機能が失われます。万一、水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は、保証対象外となりますのであらかじめご了承ください。

付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- AC電源アダプタ
- 電源ケーブル
- 日本語取扱説明書（本紙）
- QUICK START GUIDE（多言語取扱説明書）
- WARRANTY CARD（保証書）
- 安全に関する重要な指示

基本操作

▶ 電源を入れる

電源ボタン (⏻) を押します。電源がオンのときに押すと、電源がオフになります。

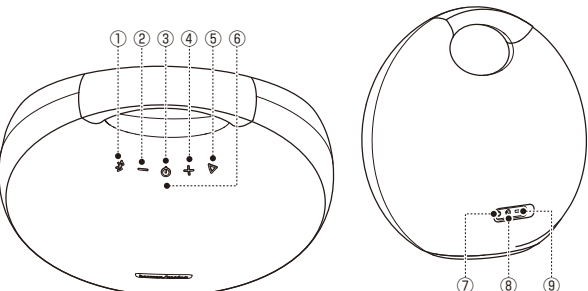


▶ 音量を調節する

音量ボタン (+ / -) を押します。Bluetooth接続中は、接続しているデバイス上でも音量を調節することができます。



各部の名称とはたらき



- ① Bluetooth ボタン (📶)
 - ボタンを押すとBluetooth接続がはじまります。設定については「Bluetooth接続を行う」を参照ください。
 - 長押しして、もう1台のONYX STUDIO 6を接続することでさらに大音量で楽しめます。
- ② 音量 - ボタン
 - 音量を下げます。
- ③ 電源ボタン (⏻)
 - 電源を入れると起動音が鳴り、LEDインジケータが点滅します。電源を切ると終了音が鳴り、LEDインジケータが消灯します。
- ④ 音量+ボタン
 - 音量を上げます。
- ⑤ 再生・一時停止・曲送りボタン (▶)
 - ボタンを1回押すと、再生 / 一時停止し、ボタンを2回押すと次の曲にスキップします。
- ⑥ LEDインジケータ
 - LEDインジケータの状態は、「LEDインジケータについて」を参照してください。
- ⑦ AUX（オーディオ入力）端子（防水カバー内）
- ⑧ POWER端子（電力供給用）（防水カバー内）
 - 付属の電源ケーブルとAC電源アダプタを接続します。
- ⑨ SERVICE端子（工場用）（防水カバー内）
 - この端子は、工場でソフトウェアのアップグレード用に使用されるもので、お使いいただくことはできません。

警告

SERVICE端子にデバイスを接続して、音楽再生や充電用としてお使いいただくことはできません。

※ ⑦、⑧、⑨使用時は、防水カバーを開けてください。使わないときは、必ずカバーを閉めてください。

ご注意

本機は低音を増強するバッシブラジエーターを搭載しています。バッシブラジエーターは振動するため、壁面間近に設置すると、音質によっては効果を得られにくかったり、共振が起こりやすくなります。実際にお試しになって、設置場所を決めることをおすすめします。

オートパワーオフ機能について

本機の電源がオンのとき、30分以上音声入力がなく、操作も行われないう状態が続くと、ピープ音が鳴り、自動的に電源がオフになります。引き続きご使用になる場合は、本機の電源を入れ直してください。

充電する

重要

本機を長期間使用しない場合は、少なくとも3ヶ月に1回はバッテリーを再充電してください。バッテリー駆動時間は使用条件や環境条件によって異なります。

付属の電源ケーブルと AC 電源アダプタを使って充電します。

充電時間は約5時間*です。

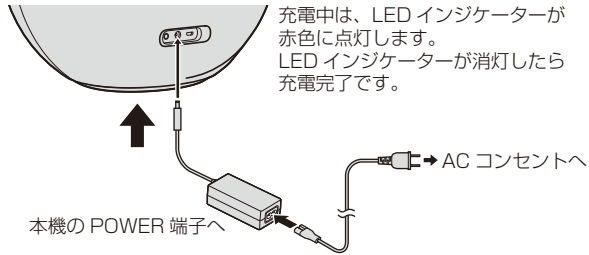
* 充電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

* 満充電になるまでの時間は、充電中に使用するなどの充電状況によって異なります。

① 付属の電源ケーブルを AC 電源アダプタに接続し、本機の POWER 端子と AC 電源アダプタを接続する。

② 電源ケーブルを壁面のコンセントに接続する。

本機は国内外の電圧に対応しています。海外でご使用の際は、お使いになる国のコンセントに合った変換プラグが必要になります。



充電中は、LEDインジケータが赤色に点灯します。LEDインジケータが消灯したら充電完了です。

↑ ACコンセントへ

本機のPOWER端子へ

電池残量について

本機のLEDインジケータは電池残量が少なくなると赤色に点滅します。充電の目安にしてください。

LEDインジケータについて

本機のLEDインジケータの状態は、以下の表を参照してください。

	LED表示	状態
赤色	点滅	バッテリー残量がわずか(低電力)
	点灯	充電中
白色	点滅	Bluetoothペアリングモード
	素早く点滅	ワイヤレス・デュアルサウンドモード／ペアリング待ち受け中
	ゆっくりと点滅	Bluetoothが未接続、またはペアリング待ち受け中
	点灯	Bluetooth／ワイヤレス・デュアルサウンド接続済み／再生中

ご注意

充電中は本機およびAC電源アダプタ/電源ケーブルに水がかからないようご注意ください。

Bluetooth接続を行う

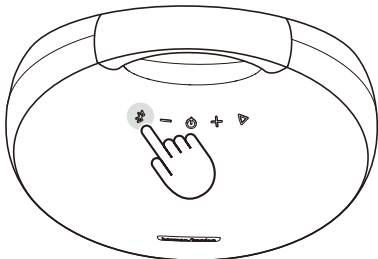
Bluetooth機能を使ってワイヤレス再生を行うには、はじめに本機とBluetooth対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

① 電源ボタン(⏻)を押して、本機の電源を入れる。

② Bluetoothボタン(📶)を押す。



電子音が鳴り、LEDインジケータが白色に点滅してペアリング設定状態になります。

③ デバイス側でペアリング操作を行い、登録/接続する。

ペアリングが完了すると電子音が鳴り、LEDインジケータが白色に点灯します。

iPhone/iPod/iPadの場合：

① iPhone/iPod/iPadをペアリング設定状態にする。

「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。

Bluetoothに接続できるデバイスの一覧が表示されます。

② デバイスから「HK ONYX STUDIO 6」を選択する。

接続が完了すると、デバイス上で「接続済み」と表示されます。



その他のデバイス(携帯電話・スマートホンなど)の場合：

① ペアリング設定状態にする。

接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)

音楽再生のみ行いたい場合は「ワイヤレスステレオ(A2DP)」で接続してください。

一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。LEDインジケータが素早く白色に点滅すると、ペアリングは完了です。

・登録にはお使いの携帯電話・スマートホンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。

・機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートホンの取扱説明書も併せてご覧ください。

本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスのBluetoothをオンにするだけでBluetooth接続することができます。

▶ Bluetooth再生を行う

Bluetooth再生を行うには、ペアリングを行ったあと本機を再生機器として設定します。

その他のデバイスで設定する

▷ 接続したデバイスで再生を始める。

接続するデバイスによって再生の手順は異なります。詳細については、接続するデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。

▶ 2台のONYX STUDIO 6で同時にBluetooth再生を行う

Harman Kardon Wireless Dual Sound機能を使うことで、ワイヤレス接続された2台のONYX STUDIO 6を1台のデバイスから同時に再生することができます。

① 1台目のONYX STUDIO 6とデバイスをBluetooth接続する。接続方法は「ペアリングを行う」を参照してください。

② 1台目のONYX STUDIO 6のBluetoothボタン(📶)を5秒以上押す。

③ 2台目のONYX STUDIO 6のBluetoothボタン(📶)を5秒以上押す。2つのONYX STUDIO 6がワイヤレス接続され、1台のデバイスで再生操作を行えるようになります。

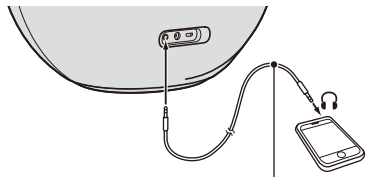
▶ Bluetooth接続を解除するには

デバイスのBluetoothを「OFF」にします。

アナログケーブルで接続する

市販の3.5mmステレオミニプラグ付きオーディオケーブルを使ってお手持ちのオーディオ機器・PCに接続し、音声を再生することができます。

① 3.5mmステレオミニプラグ付きケーブル(市販)を使って、オーディオ機器・PCの音声出力端子と本機のAUX(オーディオ入力)端子に接続する。



3.5mmステレオミニプラグ付きオーディオケーブル(市販)

② オーディオ機器またはPCで音声を再生する。

トラブルシューティング

原因	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	本機が充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	ペアリングされているかご確認ください。
	オーディオケーブルでオーディオ機器に接続している場合、デバイスの音量をご確認ください。
	オーディオ機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がりすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。
	別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされているBluetooth機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

主な仕様

Bluetooth	Bluetooth4.2
伝送距離	Class 2 (通信距離約10m、障害なきこと)
対応プロファイル	A2DP 1.3、AVRCP 1.6
音声入力	Bluetooth、外部音声入力×1
定格出力	1×50 WRMS (AC電源アダプタ接続中のバイアンプ駆動時)
使用ユニット	ウーファー：120mm×1 ツイーター：25mm×1
周波数特性	50Hz～20kHz(－6dB)
電池	リチウムイオン充電電池(3.635V/3283mAh)
充電時間*	約5時間
連続再生時間*	約8時間 (音量レベルや音楽コンテンツによって異なります)
サイズ	幅291mm×高さ284mm×奥行き128mm
質量	2940g

* 電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。

・満充電になるまでの時間は、充電中に使用するなどの充電状況によって異なります。
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたり、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

▶ 本機の廃棄について



Li-ion

本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。

リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。

本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒に廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<https://jp.harmankardon.com/support-product.html>

Tel：0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間：土日・祝日・年末年始を除く、平日9:30～17:30

Bluetooth®

・Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
・Harman International Industries, Incorporatedは、これら商標を使用する許可を受けています。
・Harman/Kardonは米国およびその他の国々におけるHarman International Industries, Incorporatedの登録商標です。
・iPhone、iPodおよびiPadは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

ハーマンインターナショナル株式会社

© 2019 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.